

報道関係者各位

2025 年 9 月 17 日

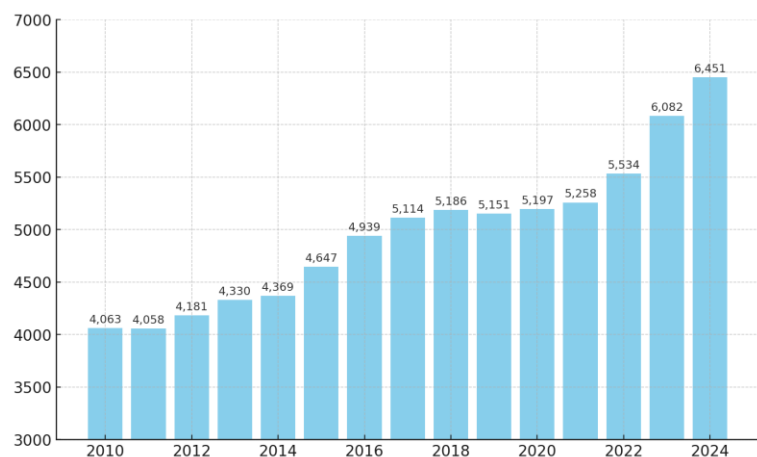
株式会社ラクーンコマース

【BtoB 販売動向発表】10 月も真夏日の見込み！？ 酷暑で「ひんやり消費」が急増&長期化 アイス出荷額は前年比 3.6 倍に 卸専門 EC、雑貨店・美容室など意外な業態に販路広がる

2025 年 6 月～8 月の平均気温は平年と比べて 2.36 度高くなり、気象庁が統計を取り始めた 1898 年以來最も暑い夏となりました^{*1}。10 月に入っても真夏日が見込まれ、酷暑は長期化しています。株式会社ラクーンコマース（本社：東京都中央区、代表取締役社長：和久井 岳）が運営する、47 万店舗のバイヤーが登録する事業者専用の卸・仕入れサイト「スーパーデリバリー」では、2025 年 4 月～7 月の冷凍ジャンル全体流通額（出荷額）が前年同期比 2.1 倍、特にアイスは前年同期比 3.6 倍の出荷額を記録しました。食品小売業だけにとどまらず、美容室や雑貨店といった異業種がアイスを仕入れるなど、今年の異常な暑さを和らげるための「ひんやり消費」がさまざまな業態で広がっています。

■ 2024 年度の国内アイス市場は前年比 6.1%増、5 年連続過去最高

日本アイスクリーム協会によると、2024 年のアイスクリーム販売金額（メーカー出荷ベース）は前年比 6.1%増の 6,451 億円、販売物量は前年比 3.1%の 935,916kL^{*2}でした。販売金額は 5 年連続で過去最高、販売物量は歴代 2 番目となります。また、一世帯当たりの年間支出金額も前年比 6.2%増の 12,295 円と過去



出典:アイスクリーム類及び氷菓販売金額の推移
(一般社団法人日本アイスクリーム協会)

最高で、5 年連続 1 万円超を記録しています^{*3}。消費量・支出ともに増加傾向にあることから、この増加は物価高による食品価格高騰の影響だけでなく、実際にアイスクリームを食べる量自体が増えていることを示しています。

*1: 参照: 気象庁発表 (2025 年 9 月 1 日)

<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/seasonal/202508/202508s.html>

* 2: 参照: 日本アイスクリーム協会「販売実績概要 (2024 年度)」

<https://www.iccream.or.jp/iceworld/data/performance.html>

* 3: 参照: 日本アイスクリーム協会 (総務省統計局 家計調査より)「2024 年 家計調査実績」

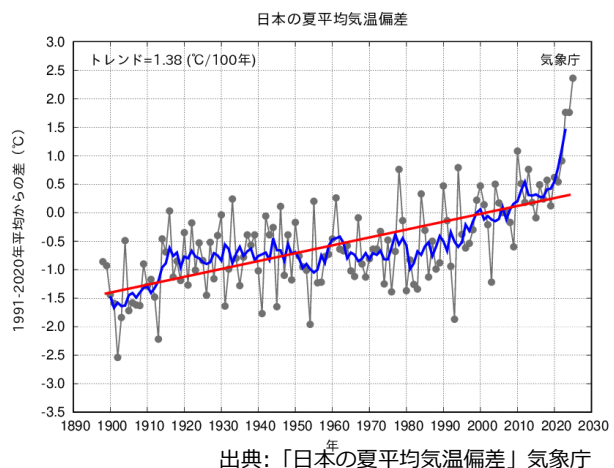
<https://www.iccream.or.jp/iceworld/data/expenditures.html>

■スーパーデリバリーの流通額は冷凍食品昨対比 2.1 倍、アイス 3.6 倍を記録

卸・仕入れサイト「スーパーデリバリー」では、2025 年 3 月頃から冷凍食品・アイスが共に売れ始め、2025 年 4 月～7 月の流通額 (出荷額) は、冷凍ジャンル全体で昨年比 2.1 倍、アイスでは昨年比 3.6 倍を記録しました。この猛暑でのアイスクリーム需要に合わせ、近年はスーパーやドラッグストア、コンビニ等の食品小売業だけにとどまらず、美容室、アパレル、雑貨店、ホテル、文具店、病院などの小売店もアイスクリームの仕入れ販売または提供を開始しています。

■2025 年夏の平均気温は+2.36℃で統計史上最も暑い夏。10 月も残暑続く

気象庁によると 2025 年夏 (6～8 月) の日本の平均気温は平年と比べて 2.36 度も高く、統計を始めた 1898 年以降で最も暑い夏となりました*⁴。また、8 月 5 日には群馬県伊勢崎市で 41.8 度を観測し、国内の最高記録が更新されました。さらに、7 月 29 日には過去最多の全国 323 地点で気温が 35 度以上になる猛暑日となりました。気象庁が 8 月 19 日に発表した「この先の 3 カ月予報 (9 月～11 月)」によると、9 月から 10 月の気温は「平年より高い」ことが予想されており、2025 年は残暑が長引く予想となっています。(右画像: 気象庁「日本の夏平均気温偏差」)



* 4: 気象庁「日本の夏(6～8 月)平均気温偏差の経年変化 (1898～2025 年)」

https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/temp/sum_jpn.html

■アイス商品例

ジューシーズ（出展企業：大谷商会）

- ・ニュージーランド生まれのフルーツアイス
- ・スティックタイプ、街歩きや店内でも気軽に食べられる
- ・砂糖・甘味料・着色料不使用。自然な甘みで、ファミリー層やインバウンド観光客にも提供しやすい
- ・2016 年から取り扱いを開始



参照：「夏に合わせて仕入れたい。ニュージーランドのフルーツアイス「ジューシーズ」

<https://blog.superdelivery.com/trend/115995.html>

■購入店舗事例

①美容室での活用事例

美容室が母体であることを活かし、カラーやパーマなどの放置時間に提供するケースや、施術後に通常 250 円のアイス商品を割引価格で購入できる仕組みを設けている。また、砂糖不使用で子どもにも安心して食べさせられるアイスが支持されており、美容室を利用されるお客様だけでなく、商店街に來訪する観光客やファミリー層を中心に好評とのこと。特に人気商品は店頭で品切れになるほど。

②レディースと子供服を取り扱うセレクトショップの活用事例

2025 年 7 月よりアイスの仕入れを開始。完売する味もあるほどの人気となっている。アイスは販売に加え、お客様には来店サービスとしてプレゼントしたり、来店したお客様がご家族分をまとめ買いされるなど。特にスティック形状アイスが好きなお子さんにも喜ばれている。酷暑のため、店内で食べられる方も。

■参照

スーパーデリバリー <https://www.superdelivery.com>

メーカーと小売店やサービス業などの事業者が取引する卸・仕入れサイトです。商品掲載数は約 199 万点。メーカーにとっては、地域を超えた 47 万店舗への販路拡大ツールとして効果を発揮し、小売店にとっては 3,200 社を超える出展企業とインターネットを通して取引でき、仕入先を大幅に拡大することが可能です。またコストや手間、リスク等を解消し効率的な取引を実現します。第 1 回日本サービス大賞にて地方創生大臣賞を受賞。（数字は全て 2025 年 7 月末時点）



株式会社ラクーンコマース

代表者：代表取締役社長 和久井 岳

所在地：東京都中央区日本橋蛸殻町 1 丁目 14 番 14 号

設 立：2018 年 11 月

資本金：300,000 千円

株 式：株式会社ラクーンホールディングス 100%

(東京証券取引所プライム市場上場 証券コード 3031)

U R L：<https://www.raccoon.ne.jp/commerce>

本件に関するお問合せ先

広報担当 大久保

MAIL：pr@raccoon.ne.jp

サービスに関するお問合せ先

スーパーデリバリーサポートデスク

[https://www.superdelivery.com/p/content
s/guide/help/help_form.jsp](https://www.superdelivery.com/p/content/s/guide/help/help_form.jsp)